



平成 27 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 不 二 家  
代表者名 代表取締役社長 櫻井 康文  
(コード番号 2211 東証第一部)  
問合せ先 常務執行役員総務人事本部長 中島 清隆  
(TEL. 03-5978-8100)  
当社の親会社 山崎製パン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 飯島 延浩  
(コード番号 2212 東証第一部)

### 平成 27 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想値と 実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 2 月 9 日に公表しました、平成 27 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）の業績予想値と実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、同じく平成 27 年 2 月 9 日に公表しました通期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異

(単位：百万円、%)

|  | 売 上 高  | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株当たり<br>四半期純利益 |
|--|--------|------|------|--------|------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A)                            | 50,000 | 100  | 50   | △350   | △1円36銭           |
| 実 績 値 (B)                                  | 50,187 | △331 | △308 | △865   | △3円36銭           |
| 増 減 額 (B-A)                                | 187    | △431 | △358 | △515   | —                |
| 増 減 率 (%)                                  | 0.4    | —    | —    | —      | —                |
| (ご参考) 前第 2 四半期実績<br>(平成 26 年 12 月期第 2 四半期) | 48,375 | △169 | △35  | △523   | △2円03銭           |

#### 2. 平成 27 年 12 月期通期連結業績予想の修正

(単位：百万円、%)

|                               | 売 上 高   | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------------|---------|-------|-------|-------|-----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A)               | 106,000 | 1,900 | 2,100 | 1,000 | 3円88銭           |
| 今 回 修 正 予 想 (B)               | 106,000 | 1,400 | 1,600 | 500   | 1円94銭           |
| 増 減 額 (B-A)                   | —       | △500  | △500  | △500  | —               |
| 増 減 率 (%)                     | —       | △26.3 | △23.8 | △50.0 | —               |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 26 年 12 月期) | 104,105 | 887   | 1,168 | △110  | △0円43円          |

### 3. 差異の理由

#### (1) 第2四半期連結累計期間実績差異の理由

売上高につきましては、当初計画を確保したものの、第1四半期連結会計期間において、洋菓子事業における既存店売上の回復に苦戦しました。また、製菓事業におきましても、中国事業が好調に推移したものの、単体菓子において、原料価格高騰に対応して規格改定を実施した主力製品の売上確保に苦戦しました。

損益面では、上記売上実績を受け、洋菓子事業におきましては、既存店売上の回復の遅れにより物流費等の販売費比率が上昇したことなどがあり、厳しい状況となりました。製菓事業におきましても、単体菓子において、一部主力製品の販売量が減少したことに加え、販売促進費が増加したこともあり、損益を下振れさせることとなりました。

この結果、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、いずれも前回予想を下回りました。

#### (2) 通期連結業績予想の修正の理由

通期の損益面につきましては、第2四半期連結累計期間の損益が予想値を下回ったため、通期の営業利益、経常利益及び当期純利益について修正を行うものであります。

第2四半期連結会計期間におきましては、売上、損益面の対策の効果が徐々に現れており、第3四半期連結会計期間以降につきましても、引き続き、洋菓子事業において、主力製品の品質向上につとめるとともに、積極的に推進しております店舗改装をさらに加速させることにより、既存店売上の回復につとめ、収益の確保に取り組んでまいります。製菓事業におきましては、現有主力ブランド製品の品質改善に加え、増量を含めた規格の見直しを実施することにより競争力アップをはかるとともに、効果的な販売促進策を通して売上高を確保し、収益の確保につとめてまいります。さらに、経費面では、物流費、人件費等の改善及び販売促進費の管理の強化など、常に業務の効率化を徹底し、経費の圧縮につとめてまいります。

以 上